

(社) 日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会
第 78 回 レベル 1PRA 分科会 議事録

1. 日時 第 78 回 : 2017 年 6 月 22 日 (木) 13:30~16:00

2. 場所 電力中央研究所大手町地区 872 会議室

3. 出席者

(出席委員) 高田主査, 桐本副主査, 橋本幹事, 岡野, 石田, 岩谷, 田中, 小谷,
日高 (佐藤 (輝) 代理), 黒岩, 織田 (谷口代理), 小森 (12 名)
(常時参加者) 池田, 島崎 (2 名)

(敬称略)

4. 配布資料

- P4SC-78-1 第 77 回 L1PRA 分科会議事録 (案)
- P4SC-78-2 停止時 PRA 標準改定案の本報告について
- P4SC-78-3 標準委員会用語辞典の対応について
- P4SC-78-4-1 内的事象 L1PRA 標準の統合性能化の進め方 (案)
- P4SC-78-4-2 内的事象 L1PRA 標準 議論検討用 (抜粋)
- P4SC-78-4-3 適用可能な手順及び実施例 議論検討用 (抜粋)

5. 議事内容

(1) 出席者/資料確認

委員 12 名が出席しており, 分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。
また, 配布された資料が確認された。

(2) 第 77 回議事録の確認

資料 P4SC-78-1 を用いて第 77 回分科会の議事録を確認した。コメントがあれば連絡いただくこととし, 特になければこのまま正式版とすることとなった。

(3) 停止時 PRA 標準改定案の本報告について

資料 P4SC-78-2 により, 停止時 PRA 標準改定案のリスク専門部会決議投票コメント対応と, 標準委員会本報告の結果について説明があり, 標準委員会の決議投票に入ったことが報告された。

(4) 標準委員会用語辞典の対応について

資料 P4SC-78-3 により，標準委員会で発行している用語辞典の改定検討について説明があり，当分科会に関する 2 件のコメント対応について回答方針を確認した。リスク専門部会の共通用語の定義での改定状況，今後の性能規定化改定などを踏まえた回答とする。

(5) L1PRA 標準統合性能化検討

資料 P4SC-78-4-1 から資料 P4SC-78-4-3 により，出力運転時・停止時のレベル 1PRA 標準の統合と性能規定化に関する検討の進め方について議論を行い，資料 P4SC-78-4-1 を分科会検討結果としてリスク専門部会に報告することとなった。主な議論は以下のとおり。

- ・標準の適用範囲として内的事象であることが規定されており，内的事象の定義も共通用語標準で既に規定されていることから，標準題名にも「内的事象」を入れることとする。
- ・性能化標準の名称については，基準・標準・規定或いは Code・Standard などが候補として考えられるが，性能規定化 PRA 標準全体として統一されることが望まれる。
- ・誤操作などによる燃料落下での機械的損傷については損傷の定義がなく，現状ではこのような事象は影響程度・範囲が限定されるなどの理由で除外されているため影響はないが，将来的には外部ハザードによる機械的損傷との関連を含めて整理が必要と考えられる。
- ・現状基準では「プラント情報の調査」が本体規定となっているが，調査そのものは手段であってそれ自体に目的を有するものではないため，基本的には規定から除外することが考えられるが，品質確保などの観点からの調査のあり方について規定しておくことも考えられる。他の PRA 標準とも共通するため，扱いについて性能規定化 PRA 標準全体として統一されることが望まれる。
- ・規定の中に図表を入れてもよいかなどを含め，箇条の構成についても性能規定化 PRA 標準全体として統一されることが望まれる。
- ・標準英訳の進め方としては，基本的に必要となる主旨・文法の邦文・訳文の整合確認から始め，関連する性能規定化の議論進捗などを踏まえてスケジュールを含め必要に応じて調整していくこととする。

(6) スケジュール，その他

次回分科会は事前調整のとおり 7 月 20 日 PM とする。また，関連するスケジュールは以下のとおり。8 月以降の分科会は別途調整とする。

7 月 11 日 リスク専門部会 PRA 活用検討タスク

7 月 20 日 第 79 回 レベル 1PRA 分科会（停止時 PRA 標準委投票対応など）

8 月 30 日 リスク専門部会（停止時 PRA 標準委投票対応）

9 月 6 日 標準委員会（停止時 PRA 標準委投票対応）

以上